

今月号の内容

1. ベルギーの政治・社会動向	1
2. ベルギーの経済・産業動向	3
3. 月例経済指標	5
4. EUの動向 JETRO ビジネス短信より	6
5. お知らせ	8

1. ベルギーの政治・社会動向

1 コロナ禍以来、最悪のインフルエンザ・シーズン

国立医療・衛生研究機関シエンサノの発表によれば、インフルエンザのような症状でホームドクターを受診した人数は、人口10万人あたり1,199人となり、「特に高い」状態だという。昨年のインフルエンザ・シーズンのピーク時の受診者数は人口10万人あたり約600人で、現在の約半分だった。また、ホームドクターの85%が、呼吸器感染症の診察が特に多いと回答し、その割合も過去数週間で増加傾向にあるという。シエンサノの専門家によれば、この時期の風邪の症状は多いものの、新型コロナウイルス感染症のピークは2024年の夏で、現在、新型コロナウイルスの患者はほとんどいないという。（2025年2月6日）

2 ベルギー国鉄、オフピーク時の旅客数増を目指し、運賃の値下げを発表

ベルギー国鉄（SNCB/NMBS）は、平日と週末のオフピークの利用を促進する目的で、料金を割り引く新運賃体系を発表した。新しい運賃は、片道券と往復券、10回券に適用される。シーズン券は、120km未満の場合は、現行の料金計算方法が適用される。12～26歳と65歳以上に適用される割引運賃の対象者は、ピーク時を含め、普通運賃の40%引きとなる。往復乗車券にのみ適用されている現行の週末券は、普通運賃の30%割引で片道券から購入が可能となる。ベルギー国鉄は今回の新運賃体系の導入により、2032年までに旅客数の30%増を期待している。（2025年2月14日）

3 フロン地域政府、家計の税負担軽減を目指し、EV車の登録税の減税などを発表

フロン地域政府は、大家族並びにひとり親家庭の税負担軽減を目指し、100%電気自動車への課税控除を含む道路税改革を第一回読会で採択した。具体的には、2025年7月1日以降、エンジンの種類や新車、中古車を問わず、大家族は道路税が250ユーロ減税される。また、100%電気自動車への課税も見直され、シティーカー、中型車、多目的車、家族車のエネルギー係数は0.08に引き下げられる。ただし、リムジン、スポーツカー、ハイパースポーツカーの登録税は据え置かれる。（2025年2月13日）

4 フランダース地域政府、経済活性化に向けた取り組みを開始

フランダース政府は、同地域経済の生産性と競争力を強化し、同地域の繁栄と幸福の持続化のための「フランダース・アクセラレーション」を開始すると発表した。同イニシアティブは、①ビジネス環境の改善（行政負担の軽減、ビジネスパークの新戦略策定、イノベーション促進のための補助金の簡素化、リスク資本へのアクセス）、②強固で強靱なインフラの整備（港、鉄道、道路網の改善、手頃なエネルギー、低炭素エネルギーの確保など）、③人材育成（人材確保に向けた教育と生涯教育）に焦点を当てる。（2025年2月18日）

5 ブリュッセルの主任検事、複数の発砲事件を受けて「目を覚ます時」と警笛を鳴らす

ブリュッセル首都圏地域の主任検事は、首都南部の地下鉄クレマンソー駅付近での連続発砲事件を受け、警察と司法省の人員不足を改めて批判した。主任検事は、ブリュッセル警察を出動させ、作戦を実施したいと考えているが人員不足で不可能だったという。1月以来、警察が拘束した容疑者1,347人には310人の麻薬ディーラーが含まれており、うち93人はすぐに身柄を拘留した。また、容疑者の中には36人の未成年者が含まれており、うち17人は青少年拘留所に送られたという。ブリュッセルの刑務所は過密状態で、拘留者は、東フランダース地域とリエージュの刑務所に移送されている。主任検事は「目を覚ます時」と警笛を鳴らし、改善を訴えた。（2025年2月18日）

6 ベルギー、欧州原子力同盟に正式加盟

連邦政府のビエ・エネルギー相は、ベルギーが欧州の「原子力同盟」のオブザーバー参加から正式メンバーとして加盟したと発表した。2023年2月にフランス主導で設立された同同盟は、再生可能エネルギーと並ぶエネルギー転換の柱として原子力を推進し、脱炭素化を加速させることを目指している。参加国は、ブルガリア、クロアチア、チェコ、フランス、ハンガリー、オランダ、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スウェーデンにベルギーが加わり11カ国となった。なお、イタリアはオブザーバーとして参加している。（2025年2月24日）

2. ベルギーの経済・産業動向

1 富士フィルム、欧州半導体材料生産拠点などに約 40 億円の投資を発表

富士フィルムは、ベルギーの生産拠点において、先端半導体材料の新規生産設備および周辺材料の既存設備の増強に向け、約 40 億円の設備投資を発表した。車載用半導体や、製造工程のデジタル化を支える産業用半導体の欧州の需要拡大に対応する。同社のプレスリリースによると、5G や 6G による通信の高速・大容量化や、自動運転の拡大、AI やメタバースの普及などにより、半導体のさらなる需要拡大と高性能化が見込まれるとして、半導体材料事業において積極的な成長投資を行っている。（2025 年 2 月 5 日付）

2 アントワープ・ブリュージュ港、循環型経済促進支援に向けた実証プロジェクトが本格操業

アントワープ・ブリュージュ港は、同港敷地内の NextGen Demo（循環型経済を促進するための革新的技術の実証から商用化を目指す企業支援）のうち、イスラエルのバイオケミストリー技術開発を手掛ける TripleW が実証施設を移転し、操業を開始した初の企業となったと発表した。TripleW は、食品廃棄物を高価値乳酸に変換する技術を強みとする。乳酸は生分解性プラスチックの製造に必要な原料であり、食品、家庭用品、化粧品産業で包装材などの用途にも使用される。NextGen Demo は、フランダース政府イノベーション・起業局（VLAIO）と EU のホライゾン 2020 からの共同出資によるもので、バイオベース経済に向けた地位を強化している。（2025 年 2 月 12 日）

3 国内最大のグリーン水素プロジェクト始動

国内最大となるグリーン水素製造プロジェクト「Hyoffwind」の開所式が北西部のゼーブルージュで行われた。同プロジェクトには、再生可能エネルギー事業者ビリヤエナジー、産業用ガス大手メッサー、機械エンジニアリング会社のジョンコックリル、建設会社のベシックスなどが参画し、2024 年 7 月に最終投資決定を発表していた。アントワープ・ブリュージュ港内で生産されるグリーン水素の用途は、大型モビリティ、産業用、ガスネットワークへの注入など多岐にわたる。同プロジェクトは、総出力 25 メガワット（MW）（3,700 トン／年）の電解槽の設置が進められ、100MW まで拡張可能で、2026 年には水素分子の生産準備が整う見込み。（2025 年 2 月 18 日）

4 交通事故死亡者の 10 人中 8 人は男性

交通安全機関 VIAS が、過去 10 年間の警察の交通事故データベースを調査した結果、ベルギーの交通事故死亡者の 80% は男性だったという。また、交通事故に巻き込まれた時に助かる確率は、女性が運転していた場合の方が男性よりも 2 倍高かった。男女間の死亡者数の差は、オートバイの事故ではさらに顕著で、死者の 96% は男性だった。VIAS によると、男性による事故の 10% は飲酒運転で女性の倍で、過去のデータからも、男性の方がスピード違反やシートベルト未着用のケースが多いという。（2025 年 2 月 25 日）

5 国内の臓器移植件数が前年比 8.5%増

連邦政府保健局（FPS）によると、2024年の臓器移植件数は、前年比 8.5%増で、臓器移植待機者の死亡者数は前年比 7.5%減となったと発表した。ベルギーは、オランダ、ドイツ、クロアチアを含むヨーロッパ諸国における臓器移植の促進と調整を担う国際的な非営利団体であるユーロトランスプラントの中で、人口 100 万人当たりのドナー数が最も多い国だという。直近では、心臓移植や肝臓移植、腎臓移植が著しく増加している一方、肺移植の件数は僅かに減少している。心臓移植と肺移植の待機者は大幅に減少し、肝臓移植と腎臓移植の待機者はわずかに増加したという。（2025年2月26日）

6 第4四半期の GDP 成長率は前期比 0.2%、低成長継続し通年では 1.0%

ベルギー国立銀行（NBB、中央銀行）は、2024年第4四半期（10～12月）の実質 GDP 成長率を前期比 0.2%（季節調整済み）と発表した。2023年第4四半期以降、4期連続で前期比 0.3%を維持していたが、わずかに減速した。ベルギーの通年の GDP 成長率は、低成長が続いた 2023年の 1.3%からさらに減速し、2024年は 1.0%となったが、プラス成長を維持した。

（2025年2月28日）

★詳細はジェットロビジネス短信（2025年3月12日付）

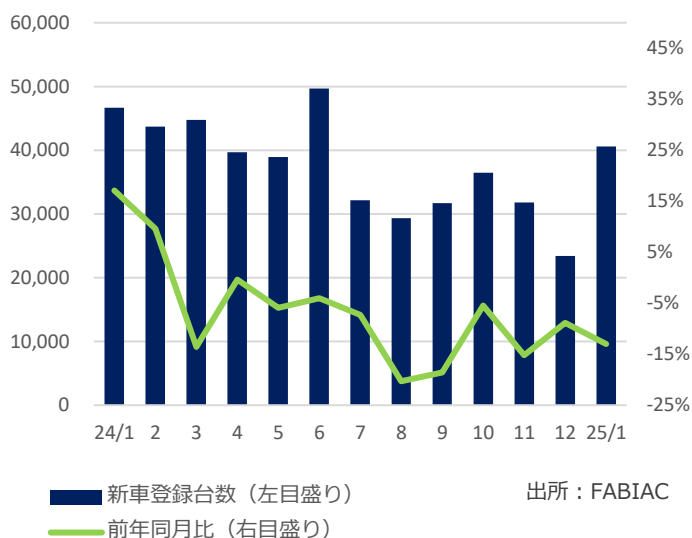
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/03/3299f636d9993add.html>

3. 月例経済指標

1月の新車登録台数 前年同月比 13.01%減

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によれば、1月の乗用車の新車登録台数は、4万594台（前年同月比13.01%減）と縮小した。メーカー別では、BMWのシェアが14.78%と最大で、メルセデスベンツ（9.08%）、フォルクスワーゲン（8.95%）が続いた。（2025年2月3日）

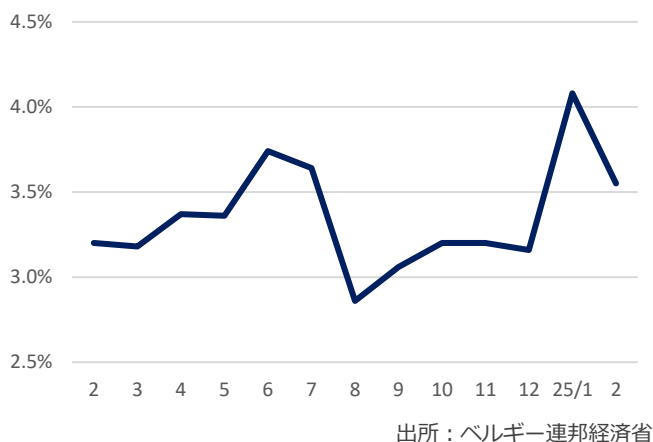
新車登録台数の推移



2月のインフレ率 前年同月比 3.55%上昇

連邦経済省の発表によると、2月の消費者物価指数は、前年同月比で3.55%上昇した。天然ガス、電気、花・植物、水、車両用燃料、車の購入が押し上げ要因となった。一方、衣料、アルコール飲料、ペット用品が押し下げ要因となった。（2025年2月27日）

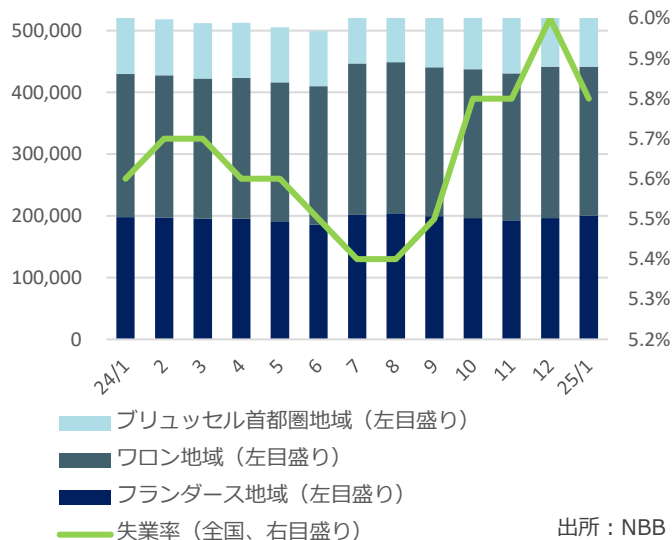
消費者物価上昇率（前年同月比）



1月の失業率 5.8%、前年同月比 0.1ポイント増

ベルギー国立銀行（NBB）によれば、国内の1月の失業率（季節調整値）は、前年同月比0.2ポイント増の5.8%だった。各地域政府が発表した失業率をみると、ブリュッセル首都圏地域の1月の失業率は、前年同月比（以下同じ）0.03ポイント減で14.6%、フランダース地域は、0.1ポイント増で6.8%となった。ワロン地域は、0.7ポイント増で14.7%となった。地域別の失業者数では、フランダース地域が20万17人、ワロン地域が24万1,825人、ブリュッセル首都圏地域が9万1,717人だった。（2025年2月6日）

失業率と地域別失業者数の推移



※ベースとなる労働力人口の算出方法は地域により異なる。

4. EUの動向 | JETRO ビジネス短信より

- (1) EU メキシコ FTA の現代化交渉が完了、最新世代の協定に（2025年2月3日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/956666505c911104>
- (2) 欧州委のロシア産肥料への追加関税案、肥料と農業部門の反応割れる（2025年2月4日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/aa498df518622927>
- (3) 2024年のEU商用車市場、電動車はバンやトラックで低調もバスでは2割超の増加（2025年2月4日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/336ead7414bd43da>
- (4) EU首脳、域内防衛協力の拡大で一致、欧州委員長は米国の追加関税に断固とした対応強調（2025年2月5日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/f79437dfe28dc1ad>
- (5) 欧州委、域内産業の競争力強化に向けた行程表「競争力コンパス」発表（2025年2月6日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/c3ac665c5131eda6>
- (6) 競争力強化に向け「欧州自動車産業の将来に関する戦略的対話」始まる（2025年2月6日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/b6fb460a3230ecbb>
- (7) 欧州委、少額輸入品に対するEU規制の適合性検査の強化の方針を発表（2025年2月7日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/509cd520a4205f04>
- (8) 欧州委の「競争力コンパス」、産業界は迅速な具体策実施を要望（2025年2月12日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/43c09bc69d0177d9>
- (9) EUのAI規則、禁止されるAI利用のルールが適用開始に（2025年2月13日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/af0786d0eca9e961>
- (10) 欧州委、大幅増額と制度改革からなる2028年からの次期中期予算計画（MFF）の方針発表（2025年2月14日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/c41c9d8690ddff6d>
- (11) 欧州委の少額輸入品に対する管理強化方針に、産業界の支持集まる（2025年2月17日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/ef18009f3e8bea83>
- (12) 欧州産業界、欧州委の単一市場戦略策定に向け提言、統合深化を強く要請（2025年2月18日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/bf7c3751bbb2f038>
- (13) EU、繊維製品の製造事業者に拡大生産者責任を課す廃棄物枠組み指令改正案に合意（2025年2月21日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/28974820740fefdd>
- (14) EUの水産物消費動向調査、海藻・藻類に市場成長の可能性も（2025年2月25日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/f2e62a0b8f226d60>
- (15) 欧州の水素や風力の先端技術展示、スマートエネルギーWEEK（2025年2月25日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/0cba3a58f6196de9>

- (16) EU、対ロシア制裁第 16 弾を採択、ロシア産アルミニウムを輸入禁止に (2025 年 2 月 26 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/d7b7a1f96a5962c0>
- (17) 欧州委、2040 年までの「農業と食料ビジョン」を発表、競争力強化を重視 (2025 年 2 月 27 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/6f34925d2f6830d4>
- (18) 欧州委の専門機関、AI やデジタルツインなどの新たなイノベーションに関し提言 (2025 年 2 月 28 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/832aa9080b5c8112>
- (19) 世界の政治・経済日程 (2025 年 3~5 月) (欧州) (2025 年 2 月 28 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/02/f6ca949f762b7557.html>
- (20) 欧州委、「クリーン産業ディール」を発表、技術中立のアプローチを原則に (2025 年 3 月 4 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/f893259c75afa139>
- (21) 欧州委、CBAM の報告対象者を 9 割削減、適用除外基準を重量ベースに (2025 年 3 月 4 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/f763ecbe0c73199d>
- (22) 欧州産業界、クリーン産業ディールの方向性は歓迎、「具体策なし」の声も (2025 年 3 月 6 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/03/79267e66cfd9b50f.html>

★次のページにレポート・イベント等のお知らせがあります。

5. お知らせ

★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EU の最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第 1 木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

(1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお申し込み下さい。

①お名前とご所属先（英文・和文）、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス

(2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお問い合わせください。

調査レポートのご案内

- 地域・分析レポート「東北ネチ、EPA や展示会、SNS 駆使してグローバル市場に挑戦」（2025 年 2 月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2025/607346be48c27d28.html>
- 地域・分析レポート「欧州議会選・国内選で右派伸長も、親 EU 路線を継続（ベルギー、2025 年 3 月）」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/791896ce2d148e95.html>
- 地域・分析レポート「新体制始動の欧州委員会、混乱が続くフランス政治」（2025 年 1 月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/9c4448e1c4380e5a.html>
- 地域・分析レポート「政治的混迷のドイツ、14 年ぶり労働党政権の英国」（2025 年 1 月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/c6b0400a77749b4d.html>
★特集「欧州最新政治情勢：欧州の行方を見定める注目論点」もあわせてご参照ください。
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/>
- 地域・分析レポート「EU、失速する EV 需要の中、相殺関税措置発動」（2024 年 12 月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/1201/17130c263f8c2052.html>
★特集「中国 EV・車載電池企業のグローバル戦略」もあわせてご参照ください。
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/1201/>
- 地域・分析レポート「半導体人材不足に立ち向かう EU、人材育成・誘致の取り組みは」（2024 年 12 月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0501/9acadbb0c4c3863c.html>
★特集「変貌する世界の半導体エコシステム」もあわせてご参照ください。
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0501/>
- 調査レポート「2024 年度海外進出日系企業実態調査（欧州編）—グリーン・デジタル法規制や高コストの課題に挑む在欧日系企業—」（2024 年 12 月）
https://www.jetro.go.jp/ext_images/News/releases/2024/bc19f0cf5ea9bbc5/2024.pdf

ジェットロでは、上記以外にも様々な欧州関連の調査レポート、地域・分析レポートを公開していま

す。以下 URL よりご参照ください。

<https://www.jetro.go.jp/reportstop/europe/reports/>

<https://www.jetro.go.jp/areareportstop/europe/areareports/>

ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ

ベルギー日本人会商工委員会と JETRO ブリュッセル事務所は、EU の政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に 4 回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、belinfo@jetro.go.jp までメールアドレスをご連絡ください。
mailto:お問合わせ先 | ジェトロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp)